



校報

水糸者

No. 1274

元年度・第133号

コミュニケーション能力が…

先日、誰もが知っている大企業の管理職の方とお話しする機会がありました。その方は、最近採用している新入社員の傾向について、少々嘆きながら話をしていました。

有名大学を卒業してうちの企業に入社する新入社員のペーパー試験の点数は確かに高い。ただ、人と接することが苦手な人が多く、多くの新入社員は人（お客さんや同僚…）との関わりを避け、一人で行う仕事を好む傾向がある。「人」を相手にする職場なのに、『コミュニケーション能力』が身に付いていないし「人」を避ける傾向がみられる。東京の方では人間関係につまずき退社する新入社員もいると聞いている。スマホや通信ゲームをやり過ぎて育ってきた年代なのかな…。



今年度も「ゲームやスマホのやり過ぎ」や「脳に良い生活」、「コミュニケーション」については、校報で何度も紹介しその危険性などを発信してきました。（下の表のとおり）

校報No（発行日）	テーマ
1146号（4/10）	著名な方々も「あいさつ」の重要性を語っています
1185号（6/25）	「命が失われてた後でも生き返る!？」
1188号（6/28）	「ゲームやスマホのやり過ぎはこんなにも危険!」パート1
1189号（7/1）	「ゲームやスマホのやり過ぎはこんなにも危険!」パート2
1190号（7/2）	「ゲームやスマホのやり過ぎはこんなにも危険!」パート3
1191号（7/3）	「ゲームやスマホのやり過ぎはこんなにも危険!」パート4
1192号（7/4）	「ゲームやスマホのやり過ぎはこんなにも危険!」パート5
1195号（7/10）	「脳に良い生活」って?パート1
1196号（7/11）	「脳に良い生活」って?パート2
1197号（7/12）	「脳に良い生活」って?パート3
1247号（11/5）	「近視」を甘く考えないでください

※近日中に「非認知能力」や「コミュニケーション能力」についても掲載していきます。



コミュニケーション能力は個々によって差があり、その差が「個性」の範囲であれば心配ないのですが、通信ゲーム機やスマホを介しての『友達関係』への「のめり込み」によって引き起こされている「コミュニケーション能力の欠落」であれば、各家庭では直ちに通信ゲーム機やスマホ使用に制限をかけることが急がれます。子どもの脳への悪影響もかなり深刻であろうと思われます。

本校でも、ゲーム機やスマホの長時間使用が原因と考えられる子どもの症状や行動が目立ってきました。例えば、長時間ゲーム機やスマホを見続けることで発生する、『遠近感がマヒ』して生じたと思われる友達との衝突事故や授業中の突然のイライラと学校生活全般にわたっての集中力欠如に陥っている子どもは「ゲーム障害」の疑いもあります。本校ではそのような疑いがある子どもについては、保護者との面談を行ってまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。



25日(水)、26日(木)、27日(金)は 期末面談

…子どもの心の奥底にある悩みや不安を、共に理解し語り合える、より良い面談に…

2学期も残す少なくなってきました。寒暖差の激しい日々が続きますが、校庭からは種小っ子達の元気な声が聞こえてきます。子ども達は「風邪にも寒さにも負けずに」学期末のまとめをがんばっているところです。

2学期の子ども達も、友と共に力を合わせながら、できなかった事にも逃げずに挑戦し、達成していくまで努力を続けていました。そんな種小っ子の姿に感動し、感心させられることが多い2学期でした。残り少なくなった日々を有効に使い、2学期のまとめをしっかりと行い、学習においても生活においても不足の点を補い、より確かなものとし自身が満足して冬休みに入れるように努力をしている種市小学校です。



《期末面談 13:00~16:40 種市小・各教室》

大きな行事が続いた2学期も、全職員が心を1つにして種小っ子の『笑顔』を求め教育活動に当たってきましたが、家庭での子ども達の様子はどうだったでしょう。

今学期の子ども達の学習や生活の様子や心身の発育状況等を保護者の方々との懇談を通し、2学期の子ども達の成長を互いに確かめ合い、また冬休みの望ましい過ごし方についても共通理解を図っていききたいものです。子どもは親の前でしか見せない顔と見せられない顔、担任の前でしか見せない顔と見せられない顔があることは当然の事です。

通信ゲームやスマホ使用の実態と授業中に出現する行動などが話題の中心となる子もいます。気になっている事は何でも語り合い、子ども理解や健全な成長を確認し合える良い機会としましょう。

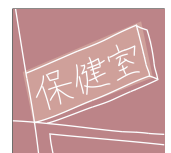


《心と体に関する健康相談(個人面談) 期末面談の前後に 種市小・保健室》



本校の関あやの養護教諭と保護者の皆さんとの「子どもに関する心と体に関する健康相談(個人面談)」も期末面談日に設定しました。確かな学力や健全な心は、健康な身体から生み出されます。子どもの健康について、率直な意見交流を行っていきましょう。

相談がある保護者の方は、事前に関養護教諭にご連絡をお願いいたします。なお、希望が殺到している場合は、期末面談日以外となる事をご了承願います。



【主な相談内容(例)】

- ・歯みがきをしない。 ・偏食が激しい。 ・家で全く会話をしない。
- ・ゲームをやり過ぎて止められない。 ・親に威圧的暴力的な行為を繰り返す。
- ・朝、なかなか起きられない。 ・思春期特有の心の波が激しい。(反抗期への対応)
- ・体重が増加してきている。 ・日によって人が変わったように変化する。 など

個々に合った学び方や学びの環境を誤ってしまうと、子どもは意欲や学力の低下を来すだけでなく、担任や親に対して不信感を持つことにもなります。隣の子と同じ方法ではなく、その子に合った方法を共通理解する、実りある期末面談としたいものです。